

# フィールド風

(現場)からの

宮田守男

今年も陽の光が差し込む林の中でひっそり咲く可憐な草花。そして早春に花を咲かせた後に夏までには葉も枯れてしまう「春の妖精」

と呼ばれる代表的な花がカタクリ。毎日新聞のコラム糸緑さんは、英語名「スプリング・エフェメラル」。春のはかない命という意味で、日本ではそれを妖精にたとえた。茎の先から下向きに咲く紅紫の釣り鐘状の花。日が当たると、その花びらが反り返る。茎や葉も含め地上に現れるのは4〜5週間程度の「はかない命」は、木々の葉が茂って他の花が咲く前に太陽の恵みと花粉を運ぶ虫を独り占めにした。と紹介した。私たちは妖精たちの生態系から何を学ぶべきなのだろう。

新型コロナウイルスの感染対策で、家族で時間をどの様に過ごす。今年母の日は、5月の第2日曜日の5月10日だ。最初に日本で母の日が行われたのは明治時代の末期と言

## 毎日を家族で楽しく過ごす術を考えよう

われ、森永製菓が、1937年に母の日を告知したこと、一気に広がりを見た。昭和に入り当時の皇后様の誕生日の3月6日に定めていたが、世界大戦終了後、アメリカにならって5月の第2日曜

日に行われ、現在に至っている。新型コロナウイルスで祭事やイベントが中止になり、花卉栽培農家の打撃の音が全国から伝わってくる。カーネーションばかりでなく、家庭に花を飾って



「カタクリ」を見るとなぜか心が温まってくる

飯を炊き、簡単な料理をして待っていた。子供がやる事で満足なものではなかったが、喜ぶ母の顔は今でも思い出す。そして風呂釜の焚口に薪を入れながら、口ずさんだ歌が童謡の「肩たたき」。「母さんお肩をたたきましょーう タントン タントン

タントントン」。「母さん 白髪がありますね タントン タントン タントントン」この調で肩たたきを経験した人は多いはずだ。自宅に家族で過ごす生活は苦勞が多いと感じている人も多いだろう。こんな時ほど「母さんお肩をたたきましょーう」ばかりでなく、「お父さん・おじいちゃん・おばあちゃん」と、肩をたたける幸せができる人は、是非チャレンジしてほしい。きっと普段は気づけない家族の温かさを感じられるはずだ。(NPO法人信州地域社会フォーラム会員)